

福生市教育委員会会議録

平成23年第1回定例会

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 開催年月日 | 平成23年1月28日(金) |
| 2 | 開始時刻 | 午前10時00分 |
| 3 | 終了時刻 | 午前10時53分 |
| 4 | 場 所 | 第2棟4階 第1委員会 |
| 5 | 出席委員 | 委 員 長 長谷川 貞 夫
委員長職務代理者 平野 裕 子
委 員 加藤 美 子
委 員 渡辺 浩 行
教 育 長 宮 城 眞 一 |
| 6 | 欠席委員 | なし |
| 7 | 出席者氏名 | 教 育 次 長 宮 田 満
参 事 佐 伯 英 徳
庶 務 課 長 田 村 博 敏
学 校 給 食 課 長 山 崎 勇
生涯学習推進課長 高 木 裕
スポーツ振興課長 鳥 越 裕 之
公 民 館 長 高 橋 清 樹
図 書 館 島 弘
主 幹 栗 林 昭 彦
指 導 主 事 田 村 亜 紀 子 |
| 8 | 傍 聴 人 | 1名 |

(裏面に続く)

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 1 号 平成 22 年度福生市教育委員会表彰者の決定について

日程第 4 報告第 1 号 平成 22 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の最終報告について

日程第 5 その他報告事項

午前10時00分 開会

委員長 それでは、ただ今から平成23年第1回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、加藤美子委員、渡辺浩行委員の兩名を署名委員として指名いたします。

日程第2、教育長報告、教育長から報告願います。

教育長 教育委員会定例会に御出席をいただきまして大変ありがとうございます。本年第1回目の委員会になるところでございます。前年に引き続きまして、御指導等いただきたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

昨年の秋頃は暖冬予測などがしきりであったわけでありまして、冬を迎えまして一転豪雪による被害が連日伝えられているところでございます。被災地の方々には心からお見舞い申し上げたいと思います。そして数日前からは、九州におきましては火山の噴火といったこともあるところでございまして、何やら落ち着かないところでございます。

そういった中で、先だってその大雪の中を苦勞して大学入試センターの試験に向かう受験生のニュースなどが伝えられておりましたが、今月下旬からはいよいよ都立高校の推薦入試が始まっておりまして、中学3年生にとっても試練の時期を迎えたところでございます。生徒たちの志望の夢が是非かなってくれることをひたすら祈るところでございまして。

では幾つか御報告申し上げます。まず一つは不審者情報に関してでございますが、数日前の平成23年1月24日、宇部市で小学校2年生の女子児童が下校の途中で刃物で顔を切られるといった事件があったところでございました。何とも痛ましく、また許せない事件であったわけでありまして、市内ではこれより前、平成23年1月18日に不審者情報が寄せられておりまして、それぞれ学校、あるいは施設に対する対応等をしたところでございます。

平成23年1月18日、第二小学校におきまして第1校時の授業終了後に、児童が登校途中にこのような場面を見たといった話が担任に寄せられたとのことでございます。登校中の路上で刃物を持った男が別の男を追いかけるようにして駆けていったとの情報でありました。直ちにこのような情報が児童から伝えられていると私どもに連絡があったところでござい

して、市教育委員会といたしましては警察との連絡をとるとともに、各学校に対しましては授業中の警戒の対応、あるいは集団登下校、一斉下校等々、指示をいたしたところでございます。

その後、特にそれ以上の情報もなく、その被害があったといったこともございませんで、平成23年1月21日の段階で警察との協議の上で警戒態勢を解きまして、通常に通学等の方法に戻っているところでございます。宇部市の事件のように残念ながら想定外のことが起こることもございまして、私どもとしては寄せられる情報に対しては予断を持たずに対処することが重要であると考えており、その旨学校や各施設等に対しましての指示をいたしているところでございます。

続きまして、学校関係につきましては、御案内のように3学期につきましては平成23年1月11日が始業日でございます、年度の最終学期に入ったところでございます。この3学期は時間的にも短い期間でありまして、1年間の総仕上げの時期でもあるわけでございます。さらには新年度への準備に向けた慌ただしいときでもあるわけでございますが、このようなことから校長会におきましては、学校にあっては多忙感で忙殺されないよう、冷静な対応と確実な進行管理、加えてきめ細やかな児童・生徒観察を指示いたしたところでございます。

次に、学校保健会の講演会が平成23年1月16日に市民会館大ホールで行なわれました。薬物防止のための講演会として取り組まれたところでございます。大変有名な方で、「夜回り先生」と呼ばれている水谷修氏が講師としておいでいただいたところでございました。

続きまして、第2回の中学生東京駅伝大会の件でございますが、平成23年1月22日に福生市のチーム選手の結団式が多摩川中央公園で行われました。今年も福生市3校の中学校から選抜されました中学校2年生、男子21人、女子21人が参加をすることになっていまして、結団式の後、早速練習が始まったところでございます。また、それぞれのタイム計測なども行われておりました。

大会につきましては平成23年3月21日午前9時30分開会式で、参加チームは23区26市、その他に三つの町のそれぞれ男女チームが出場することになっております。52のチームでございます。なお、競技の開始につきましては午前10時に女子のチームが、午後1時に男子のチームがスタートする予定でございます、会場は、今年は調布市にあります味の素スタジアムで行われることになっております。御都合等つくようござい

ましたら、応援をいただければ幸いです。

次に、市内小学校の書写展でございますが、平成 23 年 2 月 4 日から 6 日にかけてプチギャラリーで開催されることになっております。

続きまして社会教育関係では、成人式が平成 23 年 1 月 10 日の日に行われました。各委員には当日御出席をいただいたところでございました。また、委員長から青年たちへの激励の言葉もいただいております。ありがとうございました。式典は幾分私語などざわついたところもあったかと思いますが、いわゆる騒動といったほどではなかったと思います。また、式典後のつどいについても特段の混乱などはなかったと聞いております。実行委員 21 人と、大勢の新成人が集まりまして、そういった意味では成人式として正解であったのではないかと思うところでございます。また、いつもながらこの日のために様々御支援をいただいている皆様方には改めて感謝を申し上げます。

市の動向で幾つか申し上げますが、一つは新年度予算の編成でございます。今月に入りましてから市長の査定が行われておりまして、ほぼ大枠が固まってまいりました。目下、国の動向が明らかでない部分がかなりありまして、編成作業は若干混乱もあるところでございます。次回定例会には市長から意見聴取がされてくることになる予定でございます。

それから、市内の行事といたしましては新年恒例の始動式等々、例えば消防団の出初め式、交通安全推進委員会の新年の出動式等が行われたところでございました。この消防団にいたしましても、あるいは交通安全の推進委員会にいたしましても、いわゆるボランティア精神を持ってこの活動に従事をいただいているわけございまして、日頃の活動等々敬意を表するとともに、改めて御礼を申し上げたいと存じます。

次に諸会議でございますが、市議会の関係は、昨年 12 月に第 4 回市議会定例会が持たれております。この結果につきましては、後程担当から報告をさせていただきます。

それから都市教育長会が平成 23 年 1 月 12 日に開かれております。議案中、特に御報告を申し上げるところはございませんでした。なおこの日は、都市教育長会から東京都教育長に対する要望事項がされてあったわけですが、それに対する回答並びに質疑が行われたところでございます。

その他といたしましては、文化財の防衛訓練が行われました。今年は長徳寺の協力を得て訓練が行われたところでございます。

最後になりますが、平成 23 年 2 月 18 日から東京都体育館で卓球の全日

本選手権が開催されておりました。10歳の小学校4年生が大変な活躍であったとのニュースがあったところでございまして、10歳の選手の1回戦勝利は、福原選手でありますとか、前田選手といった有名な選手が小学校5年生のときにつくられた記録を破られたとのことをございました。日頃の練習の成果を発揮して頑張っている小学生の快挙をたたえたいと思うところでございます。以上、報告とさせていただきます。

委員長 教育長からの報告は終わりました。

質問がありましたらお願いいたします。

平野委員 報告にありました成人式に、私も出席させていただきました。これに関して感想等を述べさせていただきたいと思います。今年は実行委員が21人で、男性もかなり多く、男女のバランスがとれたボランティアで運営されて、とてもよかったのではないかと思います。本当に大きな混乱もなく無事終了したと思うのですけれども、教育長のお話の中にありましたように、やはり私も私語が気になりました。

今回壇上からその様子を見ていて、十数年前の小学校や中学校での授業参観の保護者の顔、雰囲気は浮かんできました。授業中、後ろで参観されている保護者の方がおしゃべりされたり、また廊下に出て大きな声でおしゃべりをされたり、そういった光景が思い出されたのですけれども、この新成人がお子さんを持って親になり、またこれから社会に出て活躍されるときに、人の話はきちんと聞く大人になってほしいと思います。小さなささやくような私語でも、それが多くなりますと、やはり人に迷惑をかける騒音になってしまうのではないかと思います。今年の新成人も、人の話を聞ける大人の方になっていただきたいといった感想を持ちました。

委員長 よろしいでしょうか。それでは、教育長報告を終わります。

次に、日程第3、議案第1号、平成22年度福生市教育委員会表彰者の決定についてを議題といたします。庶務課長より内容説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは議案第1号、平成22年度福生市教育委員会表彰者の決定について御説明させていただきます。

まず本議案の提案理由でございますが、平成22年度福生市教育委員会表彰の表彰者を決定する必要があるため、本議案を提出するものでございます。

こちらにつきましては平成22年12月24日に開催いたしました平成22年度福生市教育委員会表彰審査会における被表彰候補者の審査結果を一

覧にしたものでございます。

こちらが表彰候補者推薦受付件数でございます。この件数につきましては、平成 22 年第 12 回教育委員会協議会におきまして既に御報告申し上げておりますので、繰り返しになり、恐縮でございますが、児童及び生徒の表彰につきましては個人 8 人、団体 3 団体。下の個人及び団体の表彰では個人 3 人、団体 6 団体でございます。合計でございますが、個人 11 人、団体 9 団体全て候補者となっております。この中で表彰の概要などを御説明させていただきます。

一覧表を御覧いただきますと、今回東京都の「明るい選挙ポスターコンクール」の関係で 5 人が候補者となっております。まずこのコンクールの内容から申し上げますと、平成 22 年度の選挙ポスターコンクールに応募した作品数でございますが、東京都全体では 1 万 7,621 作品で、このうち入選作が 100 作品でございます。今回の候補者では No.9、久保有沙さんが入選しております。また、入選をいたしました作品のうち 75 作品が全国審査に進んでおりますが、それが No.1 岩本夏鈴さん、No.2 鈴木優希さん、No.4 吉浜唯菜さんでございます。なお No.1 岩本さんにつきましては、同時に東京都の優秀賞も受賞しております。また No.3 宮寺漱石さんにつきましては、全国審査に進んだ 948 作品のうち 61 作品が受賞いたします財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞しております。

次に No.6 萩田晃考さんでございますが、表彰理由の概要を御覧いただきますと、平成 21 年 6 月に開催されました平成 21 年度高体連ソフトテニス関東選手権出場となっております。ただ今回の表彰対象期間につきましては平成 21 年 12 月 1 日以降としておりますので、本来であれば該当しないところでございます。ただ、この大会にはダブルスで出場し、ペアを組んでおりました生徒につきましては、昨年この表彰を受けております。そこでこの点に関しまして、今回の推薦者でございます福生高校の校長先生に確認をいたしましたところ、昨年表彰いたしました生徒は 3 年生で、今回お願いしている生徒はその当時 2 年生であったため、学校としては最終学年になったときに推薦を予定しているものであるもので、遅れたことは申し訳ないが是非表彰をいただきたいとの申し出もございました。そこで、その点なども考慮いたしまして、遡りも 1 年程度でありますので、今回の候補者としてございます。

次に個人及び団体の表彰の関係でございますが、No.13、14、15 につき

ましては社会福祉協議会からの推薦であります。総合的な学習の時間等で長年にわたり車椅子、点字や、手話の体験学習をボランティアで行なっております。団体といたしますと福生市ボランティア連絡協議会、点字サークル「ほたる」、聴覚障がい者協会でございますが、いずれも候補者となっております。

以上、何件か申し上げましたが、次に表彰式当日の運営案などにつきまして御説明をさせていただきます。日時につきましては平成23年3月13日、日曜日でございますが、受付を午前9時30分から開始し、表彰式につきましては10時開始の予定でございます。会場につきましてはこの第1委員会室と、隣の第2委員会室で行う予定でございます。現在はパーティーションで仕切られてございますけれども、仕切りを取りまして二部屋を利用して行う予定でございます。

次に式次第でございますが、委員長には式辞をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。また来賓祝辞でございますが、来賓者が加藤市長、大野議長、増田総務文教委員長の3名でございますので、できましたら3名の方をお願いしたいと考えてございます。

また配置図などにつきましては前回と同様でございます。

以上、平成22年度福生市教育委員会表彰者の決定についての説明でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。以上でございます。

委員長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

平野委員 「明るい選挙ポスター」のコンクールですけれど、これは毎年行われているものと思うのですが、今年は特にこのように入賞者が多かったのですか。これまではいかがでしたか。

庶務課長 申し訳ございません、昨年までの件数等は押さえてございません。今回につきましては選挙管理委員会の事務局から推薦がきました。それまでは特に推薦はなかったものでございます。

委員長 要するに推薦があつて選考委員会が開かれますからとのことだと思います。まだ周知が行き渡っていないのですね。

平野委員 そうですね。わかりました。11番の地域ボランティア活動のことで、表彰候補が挙がっておりますけれども、他の表彰理由では活動何年間と記載してありますけど、11番について何か規定がございましたか。

庶務課長 No.11、福生第二中学校吹奏楽部の件でございますが、こちらにつきましては、この表の左から3列目、表彰基準、他では表彰基準がございましてけれども、ここで児童及び生徒の表彰(3)でございます。この(3)につ

きましては「委員会が表彰することが適当であると認めた者」でございますので、特に、5年や10年といった決まりはございません。

委員 長 その下の幾つかにあるように、5年以上なので、9年間やった、7年間やったではなく、11番については推薦があり、適当であると審査会は認めたとの意味ですか。

教 育 長 ある程度長期的な活動を評価してといったことです。

庶務課 長 決定した基準からすると、例えば何年かとの決まりはございません。ある程度の年数が必要だとは思いますが。

平野委員 他の学校や地域で、ボランティアとして活躍してくださっているところもありますので、その方々が第二中学校の吹奏楽部が適当と評価していただければいいのですけれども、その辺りどうかと思いました。他の学校も様々なところでやっておりますので、今回、第二中学校が推薦してくださっていますので、もしかすると次年度から他の学校も出てくる可能性がありますね。

庶務課 長 この教育委員会表彰につきましては今回で2回目でございますので、今後ともPRに努めてまいりたいと考えております。

委員 長 表彰の重みの関係もあって、毎年毎年同じ生徒を表彰するようなケースも出てくるかもしれないので、その辺りの議論があったかお聞きしたいと思います。

教 育 長 今御指摘をいただいているようなケースについては、ある程度の期間をとらえて、その行為が継続されているかどうか審査の参考にしております。単発的なことでその単発的な事業が、特に著しい行為であるとすればその年、単年度での表彰といったこともあると思いますが、特にこの区分でいえばそういった事情の考慮があるかと考えております。

平野委員 やはりまだこの表彰制度が市民に浸透されていないかと思いました。熊牛町会でも毎年はたるまつりをやっております。そこでは第三小学校、第七小学校、第一中学校、第三中学校の児童・生徒がずっと出てくださっています。ほとんど今学校長や役所関係で推薦がきていますけど、町会として推薦をしていただくとか、様々な団体からの推薦をお願いすることもやはり広めていったほうがいいのかと思いました。

委員 長 御意見として、ありがとうございます。

庶務課 長 今の件に関しましては、市の広報、あるいはホームページといった形で、周知を図っておりますが、特に学校関係が多いことに関しましては、現時点では校長会あるいは副校長会で表彰関係のお願い等を行っています。今後

につきましてはもう少し様々な方面に対してもPR、説明会等も行っていければと考えています。

委員長 例えば吹奏楽部は、ボランティアが主体なのか、吹奏楽部の発表の場をボランティアとしているのか、そういったケースもあろうかと思えます。学校教育の関係で、もう少し細かい制限を入れていかないと無制限になってしまう可能性がありますね。その辺りも検討していただければと思います。たくさん表彰したい一面と、その表彰の重みがあまりにも軽くなってはいけない一面と、その両方かと思えます。御検討よろしく願いいたします。

さて、審査会で選んでいただいたことについて、他に何かございますか。

先程、高等学校で3年生を表彰するとありましたが、今回は特例としても、福生市の規定を優先するのが本来かと思えますので、その旨校長にお伝えいただければと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 これについては審査会でも議論がありました。その中で、学校側としてはどういったことだったのだろうといったことですが、最終的に学校としては、昨年度一緒に推薦すべきところであったけれども、その推薦を忘れてしまったといった説明が納得のできる説明かと思えます。3年生でしたので、卒業も控えていることから、表彰してもらえらるなら推薦をしようかといったことのようなのでした。ですからお二人が同時に推薦されていれば何の問題もなかったところなのではけれども、同じ大会で、ペアを組んでそういった選手権に出られたことでもありますので、ここは極めて例外的に、今年度に限りとなりますが、そういった取扱いで良いだろうとなりまして、遑って表彰することになりました。以上であります。

委員長 わかりました。他にございますか。

加藤委員 内容を見ていますと、やはりボランティア活動、スポーツ関係といった方面にかなり表彰されている方が多いかと思えます。もう少し幅広く、先程平野委員がおっしゃったように、これからどういった形でそういった方を見つけていくかですね。難しい部分があるかもしれないですけども、何かまだ狭い範囲だなといった感じがします。まだ市の中には、他の意味で貢献されていらっしゃる方がいるのではないかと感じました。

委員長 推薦されなければ見えないのが、こういった表彰の一つの形ですから、御努力いただいていると思います。御意見としていただければと思います。

他に質疑はございませんか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第1号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第4、報告第1号、平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の最終報告についてを議題といたします。指導主事より内容説明をお願いいたします。

指導主事 報告第1号につきまして報告させていただきます。

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国の報告が公開されましたので、福生市のものと、東京都のものと併せて報告させていただきます。また、併せて東京都の施策であります「幼児・児童・生徒の体力向上に向けた取組の推進」で、本市の取組状況について御報告させていただきます。

まず平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査につきましてでございます。調査の目的としまして、国として児童・生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証しその改善を図ることや、各教育委員会や学校が全国的な状況との関係を分析することで改善策を図ること、各学校が児童・生徒の体力、運動の習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、指導の改善に役立てることで、全国規模で行われております。

本調査の対象ですが、小学校第5学年、中学校第2学年でございます。なお、全国へは抽出校の記録を提出しておりますが、福生市としましては「福生市体力テスト」として、体力テストの部分につきましては全校実施を求めています。実施時期につきましては平成22年7月までに実施し、全て福生市教育委員会に報告していただいております。

調査項目ですが、小学校は握力、上体そらし、長座体前屈、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目でございます。中学校につきましては小学校と同じく握力、上体そらし、長座体前屈、反復横とび、50メートル走、立ち巾跳び、ソフトボール投げの7種目と、中学校につきましては20メートルシャトルランまたは持久走の選択となっており、福生につきましては3校とも持久走を選択してございます。

この実施に当たりましては、単なる体力テストではなく、事前に調査方法等を十分に知らせた上、調査の結果の精度を上げていくとともに、調査

結果を各学校とも分析して、日常の体育の授業や体力づくりの活動に生かしていくよう指示をしてございます。

概要といたしまして福生市の児童・生徒は、体格は東京都、全国の平均を上回ってはございますが、体力テストの項目で上回るものは少なくなっております。また 50 メートル走につきましては全ての小・中学校、男子、女子ともほぼ平均に近いと言えらると思ひます。昨年度もこのような御報告はさせていただきますが、やはりシャトルランや反復横とびについては平均を下回っており、課題の一つであらうと思ひられます。

続きまして、東京都の幼児・児童・生徒の体力向上に向けた取組の推進について御報告させていただきます。平成 20 年度、平成 21 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、東京都の平均は全国平均を大きく下回っていたことがあり、東京都から「子どもの体力向上東京大作戦」と銘を打ちまして体力向上の施策が示されております。

この中で目標値としまして、平成 24 年度には全国平均値、平成 31 年度には戦後子どもの体力がピークであったとされている昭和 50 年代の水準まで持っていくと示されております。様々な施策があるのですが、その一つの施策として全ての小・中学校において「一校一取組」、全ての小学校において「一学級一実践」が示されております。この実施につきまして平成 22 年度から取組を開始し、平成 23 年度には全ての学校・学級においてこれらの取組をするよう受け、平成 23 年度の教育課程にも位置付けるようになってございます。

実際に福生市における取組ですが、通知が 6 月に出されておりますので、7 月定例校長会でこの趣旨を説明し、現在学校で実施している体力向上に向けた様々な取組を、この「一校一取組」や「一学級一実践」に位置付けて、さらにその充実を図るようお願いいたしております。

平成 22 年 12 月に、この「一校一取組」や「一学級一実践」に関する取組状況を調査しましたところ、各学校このような状態になってございます。来年度はこれらを教育課程に明記し、位置付けるとともに、さらに充実を図るよう指導しております。以上でございます。

教 育 長 東京都教育委員会からは「その一層の推進方お願いします」とのことでありまして、指示があったわけではありません。

委 員 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

平 野 委 員 資料中、網掛けの部分は東京都よりも上回っているとのことでしたね。50 メートル走のところは、数字が低い方が上回っているのではないです

か。

この資料を見てもそうですが、児童・生徒の体力は私たちの子どもの頃より落ちているのではないかと、私もずっと、以前からそのように感じておりました。このような取組の推進の願いがきたことで、学校側も随分一生懸命取り組んでくださっているようで、内容を見ていましてチャレンジカードを使って、達成ごとにスタンプを押していくと、これもやはり児童・生徒が楽しみながら目標に向かっていけると思います。とてもいい方法でやってくださっていると思うので、是非続けていっていただきたいと思います。

小・中学校はよく見えるのですが、推進の願いをみていますとやはり小学校からではなく幼稚園からとのことですね。幼稚園からの連携も出ていますけど、幼稚園も今普通の幼稚園教諭が教えるよりも、外部からスポーツ専門の先生をお呼びしてやっているところもあると思います。そのような幼稚園の現状も知りながら、小学校との連携に向けていってもいいのではないかと思います。

しかし、学校に入る子は保育園の子もおりますから、その辺り、もう少し全体的に見ながらやっていかなければいけないのかと思いました。

このようにスポーツに力を入れていくとのことなのですが、新学習指導要領になって体育の授業は増えているか、その辺りを教えていただけますか。

参 事 小学校につきましては平成 23 年度、来年度につきましては新学習指導の全面実施になるわけですが、数字的なことを申し上げますと、3 年生と 4 年生が現行年間 90 時間、週当たりにしますと週 2.6 時間が、平成 23 年度から年間 105 時間、即ち週 3 時間に増えます。

また、中学校につきましては平成 24 年度に全面実施になるわけですが、現行では 1 年生から 3 年生まで年間 90 時間、週 2.6 時間が、全学年とも週 3 時間、即ち年間 105 時間に増えます。以上でございます。

平 野 委 員 やはり体育の授業を増やして、体力づくりもできやすくしているのですね。

加 藤 委 員 この平成 22 年度における「一校一取組」の実施内容なのですが、これはいつごろから始められて、結果は大体いつごろ出るのでしょうか。

指 導 主 事 取組につきましては、いつごろから始めているとは把握してございません。今年度活動されている取組として位置づけられることと報告いただいております。

加藤委員 いろいろ結果は出てくるのですか。

委員長 平成 22 年 6 月 1 日の東京都教育委員会からの通知は、こういったことを重要だから推進お願いしますとのことで、それを受けて行っている現状がこのとおり、こういったことを取り組んでいるのですといったところまででしょう。先程教育長が言われたように、これは東京都教育委員会が区市町村教育委員会のもとにある区市町村の小学校に対して、義務として課したのではなく、こういった方策もありますよと一つの方向として示してくださったものです。示してくださったそれを受けて、各学校ではこのようなことをやっていますといったところまでです。

加藤委員 わかりました。細かに、子どもが楽しくできるよう考えていられる学校もあるのだと、こういうところは他の学校にも取り入れていいのではないのかと思いました。

委員長 ここが楽しそうだ等あったら指摘なさっても面白いのではないですか。他にございますか。

渡辺委員 後日で結構なので教えていただきたいのですが、アンケートについて、例えば「朝食の有無」といって 1、2、3、4 とございますよね。「朝食の有無」は食べたか食べないか以外に何か答えがあったのですか。その辺りの細かいところ、「1 日の睡眠時間」を 1、2、3、4 で分けていますが、これはどこが何時間寝たのか、その辺りがわかったら教えていただければと思います。

委員長 後程になりますね。よろしいでしょうか。

では後程御報告をいただくことで。他に質疑はございませんか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第 1 号は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議なしと認めます。よって報告第 1 号は原案のとおり承認することといたします。

次にその他事項について御説明願います。

次長 その他報告事項の 1、平成 22 年第 4 回福生市議会定例会の報告についてでございます。平成 22 年第 4 回福生市議会定例会、12 月議会の結果について御報告いたします。

会期は平成 22 年 11 月 30 日から平成 22 年 12 月 17 日までの 18 日間で行われました。案件でございますが、議案は 11 件で、議案のうち主なも

のといたしましては、平成 22 年度福生市一般会計補正予算（第 2 号）、福生市体育施設条例の一部を改正する条例などでございます。

福生市体育施設条例の一部を改正する条例でございますが、市営福生野球場整備工事完了に伴い野球場の利用拡大が可能となるため、野球場の休場日及び開場時間に係る所要の規定を整備したいことから、本条例の改正を議会に提案させていただき、可決されてございます。

一般質問でございますが、17 人の議員からございました。教育委員会関係の質問は 9 人の議員からいただきました。質問の内容等につきましては資料のとおりでございますので、後程お目通しをお願いいたします。

以上、平成 22 年第 4 回福生市議会定例会につきましの報告でございます。

平野委員 杉山議員のお話の中に、ペタンクの競技について書いてありますが、質問要旨で「再質問は、ペタンクの活動場所の確保についてがあり、その所管は首長部局のため教育委員会としての答弁はない」と書いてあります。ペタンクはスポーツの競技の一種ですね。競技としてみる場合は教育委員会が所轄になるわけですか。また、ペタンクのチームがあるのかなのか、書いてあるように老人クラブの活動としてのペタンクだと、これは教育委員会の管轄にならないのか、その辺りを教えてください。

スポーツ振興課長 高齢者のスポーツといいますとグランドゴルフ、ゲートボール、ペタンクがございまして、体育協会に加盟しているのがゲートボールとグランドゴルフでございまして、今回の質問の趣旨は、ペタンクをする場所の確保が意図にあったわけでございます。主な団体は老人会を中心としたペタンクのグループでございまして、その場所の確保について所管しているのは高齢福祉係で、場所の確保、調整等を行っている関係がございまして、活動や支援、野球場を使いたいといった話であればスポーツ振興課が御支援する中身になるかと思うのですが、意図は、通常使っている場所、公園も含めまして様々な場所で行っているわけなのですが、その場所を確保したいといったことでもございましたので、高齢福祉係で担当すると内部調整をさせていただいて、答弁をこのようにさせていただいた経過でございます。

もちろんペタンクはスポーツでございまして、スポーツ振興課で御支援する中身にはなるかと思いますが、現在直接的な部分で関わりどころが薄い状況もございました。以上でございます。

委員長 要するに、質問の意図は、市長部局でお答えになったのですね。

委員次長 御質問は、中項目が「高齢者スポーツについて」と、テーマをふってご

ございましたので、教育委員会の所管になると考えました。ただ議員のお話を伺うと、中身は老人クラブの活動として行っているペタンクの場所をもう少し増やせないかとの趣旨でございましたので、その部分の答えは市長部局になり、そちらが答えたといったことでございます。

平野委員　わかりました。競技そのものであれば教育委員会の所管になるのですね。
委員長　実はこういったニュースポーツは山ほどあるのですね。その全てに福生市教育委員会が場所の確保に向かいますと、多分福生市の予算で賄いきれなくなる可能性もあって、NPO 法人体育協会に所属してオフィシャルな立場を持ってほしいと体育協会が頑張ってきたのではないかと思います。ですから無制限にスポーツだから全て教育委員会で取り扱うものでもないと思います。おそらく本当に山ほどあるのですよ。テニス関係についても、どなたか一人福生に来られて、そのスポーツを持ち込んで、じゃあ場所の確保をなどとやったらたまらなくなります。うまく調整をスポーツ振興課の方でやってくださっています。難しいところです。

よろしいでしょうか。

他にその他報告はありませんか。

委員の皆さんからは何かありませんか。

ないようですので、その他報告事項の説明を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

これもちまして、平成 23 年第 1 回福生市教育委員会定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午前 10 時 53 分 閉会